

企画政策会議の現況等について

1) 今年度設置を予定している企画政策会議（新設）

企画政策会議名	所管部	政策課題	設置年度
千曲市総合運動公園戸倉体育館エリアの整備に関する企画政策会議	企画政策部	千曲市総合運動公園整備事業の本格化に伴う各課調整や経済波及効果等の検討・検証を行う。 施設整備後の利活用なども含め周辺施設や体育館を核とした地域活性化などの検討を行う。	R6

2) 既存の企画政策会議

企画政策会議名	所管部	政策課題	状況	設置年度
地域防災拠点・道の駅整備に関する企画政策会議	企画政策部	地域防災拠点・道の駅整備の方針、設置施設、設置場所、設置時期等について各課連携して検討を行う。	継続	H29
屋代地区開発事業に係る公共関与等に関する企画政策会議	企画政策部	民間主導による屋代地区開発事業を通じて市民サービスの向上を図るため、当該開発事業における公共的機能の検討・事業化などの公共関与等に関する調査・研究を行う。	継続	R04
「（仮称）地域づくり協議会」の設立に関する企画政策会議	企画政策部	「（仮称）地域づくり協議会」の設立に向けて庁内の意思統一を図る。 「（仮称）地域づくり協議会」の在り方や組織体制、制度設計、財政、人材、活動拠点等について検討を行う。	継続	R04
地域通貨・ポイント制度導入に関する企画政策会議	経済部	『地域内での経済循環』と『地域外からの流入増加』、『市民活動の活性化』を図る施策の一つとして、地域通貨・ポイント制度（デジタル化）の導入に向け検討を進める。	継続	R05

3) 「解散」の承認を得たいもの

企画政策会議名	所管部	政策課題	状況	設置年度
スマートシティ推進に関する企画政策会議	企画政策部	Society5.0の実現に向け、ICT等の新技術を活用し、地域の抱える諸課題の解決を行い持続可能な地域の実現、市民サービスの向上、行政事務の効率化を図るため、各課の連携・一体的な取り組みが必要となる。	解散	R02

企画政策会議設置予定調書

所属 公民共創推進室

企画政策会議名	千曲市総合運動公園戸倉体育館エリア整備に関する企画政策会議
会議の目的と概要等(箇条書)	千曲市総合運動公園戸倉体育館エリア内において整備を計画している各施設について段階的な検討を進め、事業化に向けた全体調整を図る。 ①令和 10 年秋に開催される国民スポーツ大会のハンドボール競技会場として利用される戸倉体育館の敷地内移転再整備を円滑に進める ②千曲市総合運動公園戸倉体育館エリア基本計画(令和 6 年 5 月策定予定)で定める整備手順(Step1-3)に基づき、施設整備に関するエリア全体の調整を図る ③千曲市総合運動公園基本構想(令和 5 年 3 月策定)で位置付けた他のエリア構想との連携・調整を図る ④戸倉体育館エリア整備後の周辺への経済効果等について検証する
背景や現状(具体的に)	千曲市総合運動公園戸倉体育館エリア基本計画(令和 6 年 5 月策定予定)に基づく施設整備が本格的に始まり、エリア内の全体的な整備に関する担当部署、関係部署との連携・調整や、施設整備後の利活用等も含めた周辺施設、関係部署との連携・協力が必須となることから、企画政策会議を新設して部局横断的に検討を重ね、中長期的な視点を踏まえながら、まずは期限内に新戸倉体育館を建設する。
課題・問題点(具体的に)	①戸倉体育館エリアは新体育館の整備で終わりではなく、多目的野球場等の建設も控えていることから、施設整備後の利活用を明確にし、将来像を各課の共通事項としたい。 ②経済効果の検証には、周辺の飲食店等の商業施設や観光地との結び付き、戸倉上山田温泉を有効活用したスポーツツーリズムの推進など、積極的な施策の展開が必須となる。そのため、観光課や観光局との連携を強め、体育館や野球場のスポーツ施設を活用した合宿誘致等に繋げていくため、整備前の段階から必要な設備や仕様について検討していく必要がある。
関連する部課名	財政課、総合政策課、スポーツ振興課、観光課、都市計画課、市民生活課

各企画政策会議の調査検討状況（令和6年度） 総括表									
No.	企画政策会議名	所管	政 策 課 題	R5年度実績	調査検討の状況	今後のスケジュール	「会議」を継続等する理由等	状況	
1	スマートシティ推進に関する企画政策会議	企画政策部 総合政策課	Society5.0の実現に向け、ICT等の新技術を活用し、地域の抱える諸課題の解決を行い持続可能な地域の実現、市民サービスの向上、行政事務の効率化を図るため、各課の連携・一体的な取組みが必要となる。	OR6.3.11 企画政策会議（書面決裁） 休止について 事務局レベルでの検討を踏まえ、休止（一旦解散）することを決定。	OR5.5.26 第1回企画政策会議 事務局会議（情報政策課長、総合政策課長 他） 5月23日の部長会議において会議のあり方を検討するよう指示があり、今後の方向性を検討。 スマートシティの推進は千曲市においては時期尚早である。今年度DX推進アクションプランの策定を行うことから進捗と併せて方向性を検討していくこととした。 OR6.3.7 第2回企画政策会議 事務局会議（情報政策課長、総合政策課） DX推進アクションプランの策定段階で庁内での調整を行っており、今後は、アクションプランに基づき自治体DXの推進を進めていく。 そのため、本会議をDX推進に変更し調査研究する必要性が乏しいため「休止（一旦解散）」とし、将来必要になった時点で再開することとした。	千曲市地域情報化計画に基づき、業務の効率化、行政サービスの更なる向上を進める。 今後、部長会議等でスマートシティ推進について調査研究を進める必要性が高まった際に、あらためて組織する。	令和2年に本会議を設立以降、県主催の協議会への参加や、長野市と連携しながらスマートシティに向け情報収集を行ってきた。 しかし、都市DXはハードルが高く都市OSの構築等に取り組むことは時期尚早であると判断し、まずはDX推進アクションプランに基づき「業務の効率化」による行政サービスの更なる向上を優先して進めることとしたため。	解散	
2	地域防災拠点・道の駅整備に関する企画政策会議	企画政策部 公民共創推進室	地域防災拠点・道の駅整備の方針、設置施設、設置場所、設置時期等について各課連携して検討を行う。	調査 R6.3 サウンディング調査結果公表 視察研修 R5.4 上田市 道と川の駅 R5.7 山梨県北杜市 トイレトレーラー R5.7 安曇野市 防災広場 R5.9 佐久市 道の駅ヘルシーテラス佐久南 R5.11 栃木県⇒茨城県 道の駅もてぎ、道の駅ましこ⇒道の駅グランテラス筑西、道の駅常総 R5.11 群馬県 道の駅川場田園プラザ、ららん藤岡	視察後の検討 ○先進事例を見学・担当者へのヒアリングを行い、防災面・運営面・商業面を学んだことから、それらを活かした施設建設を行う。 調査後の検討 ○サウンディング調査 サウンディング項目： ① 防災、情報発信及び地域振興の場として安全で賑わいの場となるアイデア提案 ② 運営をしていくためのアイデア提案 ⇒今回のサウンディングにより、千曲市の「道の駅」を整備した場合の採算性や集客のアイデア、管理運営の手法、独立採算の可能性など様々な意見や提案をもらった。 サウンディング結果を踏まえ、基本構想等の検討を進める。 一方、現時点では、施設整備後の管理運営に関する者のサウンディングへの関心が少ないため、公民共創による「千曲市地域防災拠点・道の駅（地域振興施設）」の整備を目指し、事業スキームを決定する際に、再度サウンディング型市場調査を実施する。	令和6年度 5月 整備に関する補助金を県に要望 9月までに：基本構想を策定 9月～ ：基本構想を元に基本計画策定 年度内： ・建設手法について調査（PFI等官民連携） ・地域防災拠点・道の駅整備の在り方について方向性、規模及び場所を概ね決定 ・地域防災拠点・道の駅整備について先進地等の視察・研究 ・交通量調査（休日等）の実施、将来交通量（坂城更埴バイパス等開通後等）を把握 ・農振除外に関する調整	「継続」 ・第三次千曲市総合計画・千曲市復興計画に基づき、地域防災拠点・道の駅整備について検討を進める。	継続	

各企画政策会議の調査検討状況（令和6年度） 総括表									
No.	企画政策会議名	所管	政 策 課 題	R5年度実績	調査検討の状況	今後のスケジュール	「会議」を継続等する理由等	状況	
3	屋代地区開発事業に係る公共関与等に関する企画政策会議	企画政策部 公民共創推進室	民間主導による屋代地区開発事業を通じて市民サービスの向上を図るため、当該開発事業における公共的機能の検討・事業化などの公共関与等に関する調査・研究を行う。	令和4年11月14日の部長会議において承認された、『公共的機能の方向性として、「学ぶ」「育てる」「遊ぶ」「ふれあう」をテーマとした複合施設と全天候型広場の検討を進め、早期実現に向けて取り組むこと』との方針に基づき、検討を行った。	R5.4.11 企業立地推進本部 … 公共関与等に関し、開発主体や関係者・関係部局と協議・調整することを報告 R6.2.5 部長会議 … 公民共創による民間事業者との連携協力の必要性を報告 R5.10～R6.3 公民共創実践型ワークショップ等 … 市の課題を参加企業と共有・共感・共創することで、起業人派遣に向けた検討を実施 ・(株)ニコン日総プライムより、企業派遣型（地域活性化起業人）1名が内定 R5.10～R6.3 「ポリネコ！CHIKUMA」を活用した子育て世代等からの意見募集について協議・検討（実施はR6年度中） ※企画政策会議 R5年度開催実績なし	子育て世代等にとって魅力がある公共的機能（公共施設や公共サービス）についてアンケート調査を実施する等、多様な媒体を通じたニーズの把握に努め、令和6年度中に議論を重ねて具体的な中身を詰める。	「継続」 ・若い世代や子育て世代にとって魅力があり住みやすいと実感できる「新たなまちづくり」に欠かせない公共的機能」について調査・研究を進める。	継続	
4	「（仮称）地域づくり協議会」の設立に関する企画政策会議	企画政策部 総合政策課	「（仮称）地域づくり協議会」の在り方や組織体制、制度設計、財政、人材、活動拠点等について検討を行う。	○R5.12.26 企画政策会議 制度検討、意見交換	R5.9.22 地域の団体に委託等している事務・事業に係る調査（庁内照会） R5.12.6 公民館分館活動に係る調査（庁内照会） R5.12.26 企画政策会議 R6.1.18 部長会議 R6.1.25 上山田地区連合会定例会での説明、意見交換 R6.2.7 講演会、説明会の開催（区、自治会長等） R6.3.19 部長会議（説明会でのアンケート調査結果報告）	【地域】 ・講演会（全体）、地域説明会の開催（希望する地区） ・制度の検討（市の支援内容） ・希望する地区において準備会を立ち上げ、地域課題の把握、実施事業の検討を行う。 ・モデル地区として設立準備会の立上げ。 【庁内】 ・制度検討 ・設立準備会立ち上げ支援。 ・職員向け研修会の開催。 ・アドバイザーの選定	「継続」 制度設計を行う上で、庁内調整が必要なことから今後も継続する。	継続	

各企画政策会議の調査検討状況（令和6年度） 総括表								
No.	企画政策会議名	所管	政 策 課 題	R5年度実績	調査検討の状況	今後のスケジュール	「会議」を継続等する理由等	状況
5	地域通貨・ポイント制度導入に関する企画政策会議	経済部 産業振興課	○人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響による地域経済の縮小が懸念される中、デジタル化の進展によるキャッシュレス決済の浸透が進んでいることから、『地域内での経済循環』と『地域外からの流入増加』、『市民活動の活性化』を図る施策の一つとして、地域通貨・ポイント制度(デジタル化)の導入に向け検討を進める。 ○デジタル地域通貨を導入することにより、決済データの収集・分析を行い地域内経済の流れを明らかにすることで、地域課題解決・地域経済活性化につなげる施策の展開を図る。(E BPMの推進)	5月 9日 市長・行政マネジメント室より地域通貨・ポイント制度導入に向け産業振興課に検討の指示 5月23日 部長会議において「地域通貨・ポイント制度導入に関する企画政策会議」設置 6月 7日 第1回 地域通貨・ポイント制度導入に関する企画政策会議開催(地域通貨・ポイント制度についてNTTより説明) 7月 6日 産業振興課とNTT打合せ①（地域通貨等導入・運用費用について） 8月 8日 (株)グッドスタッフ(株)まちのわ)Web説明・・・全国50自治体でシステム導入 8月22～23日 企画政策会議 視察研修(新潟県長岡市・山形県長井市) 9月 4日 産業振興課とNTT打合せ②(地域通貨等導入スケジュール、運用費用、地域通貨利用シーンについて) 9月 6日 (株)カヤック主催の「第3回地域通貨サミット」聴講・・・上田市一部地域などで導入 9月26日 第2回 地域通貨・ポイント制度導入に関する企画政策会議開催（視察研修報告、中間報告案の承認） 10月10日 理事者調査結果報告 10月23日 長野県デジタル地域通貨導入効果分析研究会出席(千曲市の状況説明・他地域の導入状況等情報共有) 10月27日 部長会議において中間報告 12月8・15日 マイナンバーカード活用サービス説明会(株)ギフトィ・フェリカポケットマーケティング(株) 3月25日 長野県デジタル地域通貨導入効果分析研究会出席(県デジタル地域通貨導入の手引き(案)説明・他地域の導入状況等情報共有) その他:事業者から説明(TOPPAN・GMOペイメントゲートウェイ・PAYPAY)	令和5年度:左記のとおり	令和6年度の継続して調査・研究の実施 ○4月18日 総合政策課交通政策係とともに(株)TicketQR(チケットキューアール)より事業説明受ける予定(交通系決済との連動を模索) ○長野県デジタル地域通貨導入効果分析研究会へ参加予定。 ○先進地調査・研修予定(岡谷市など)	令和5年度による調査・研究では、令和6年度の本制度の導入は時期尚早としたが、今後も調査・研究を進め、導入に向けて会議を継続。	継続